



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カカコム

コード番号 2371 URL <https://corporate.kakaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 敦浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上級執行役員CFO (氏名) 粕谷 進一 TEL 03-5725-4554

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	56,687	16.5	22,065	20.6	22,181	19.9	15,062	18.6	15,098	19.1	15,072	18.5
2024年3月期第3四半期	48,679	9.2	18,299	2.1	18,505	0.8	12,699	△1.2	12,677	△1.2	12,723	△1.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	76.38	76.34
2024年3月期第3四半期	63.12	63.07

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	91,749	57,152	56,868	62.0
2024年3月期	83,308	51,691	51,380	61.7

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	23.00	-	23.00	46.00
2025年3月期	-	25.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	55.00	80.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 2025年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 特別配当 30円00銭

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	10.6	28,500	10.4	28,400	8.7	19,400	7.2	98.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期3Q	198,218,300株	2024年3月期	198,218,300株
2025年3月期3Q	486,331株	2024年3月期	651,327株
2025年3月期3Q	197,674,087株	2024年3月期3Q	200,827,604株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(セグメント情報) .....	15
(減損損失) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

売上収益は56,687百万円（前年同期比16.5%増）となりました。これは主として、価格.com事業、食べログ事業、求人ボックス事業、及びインキュベーション事業の旅行・移動領域において売上が増加したことによるものであります。

営業利益は22,065百万円（前年同期比20.6%増）となりました。これは主として、売上収益が増加したこと、並びに外注費及び人件費が微増（前年同期比2.0%増）にとどまったことによるものであります。

税引前四半期利益は22,181百万円（前年同期比19.9%増）となりました。これは主として、営業利益が増加したことによるものであります。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は15,098百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

セグメントの業績（※1）（内部取引消去後）は、次のとおりであります。

#### ① 価格.com事業

当第3四半期連結累計期間の価格.com事業の売上収益は17,225百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は8,246百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

ショッピング事業は、新製品の減少、為替の変動による製品の値上がり、コロナ初期に生じた需要前倒しなどの影響はほぼ収束しました。サービス事業は、金融及び通信の各領域におけるマーケティングの好調さが一巡を迎えて落ち着きつつあるものの、好調に進捗しました。広告事業は、事業環境に大きな変化はみられないものの、出稿は徐々に増加しつつあります。保険事業は、火災保険を中心に申込件数が増加しました。

その結果、ショッピング事業の売上収益は5,607百万円（前年同期比1.7%増）、サービス事業の売上収益は7,144百万円（前年同期比15.3%増）、広告事業の売上収益は2,187百万円（前年同期比3.9%増）、保険事業の売上収益は2,288百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

2024年12月度の月間利用者数（※2）は3,867万人となりました。

#### ② 食べログ事業

当第3四半期連結累計期間の食べログ事業の売上収益は24,630百万円（前年同期比20.4%増）、セグメント利益は13,677百万円（前年同期比27.0%増）となりました。

飲食店広告事業（※3）の売上収益は10,693百万円（前年同期比12.3%増）、飲食店予約事業（※3）の売上収益は11,273百万円（前年同期比33.1%増）となりました。外食需要が着実に高まっていることから、ネット予約人数は当第3四半期連結累計期間において7,769万人（前年同期比30.3%増）となりました。また、飲食店におけるネット予約サービスの利用店舗が増加したことにより有料プラン契約店舗数は12月末日時点において86,000店舗となりました。

ユーザー会員事業は、有料サービス加入者数の増加により売上収益が1,198百万円（前年同期比4.7%増）となりました。広告事業の売上収益は1,414百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

2024年12月度の月間利用者数（※2）は10,150万人となりました。

#### ③ 求人ボックス事業

当第3四半期連結累計期間の売上収益は9,108百万円（前年同期比37.3%増）、セグメント利益は3,682百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

求人ボックス事業は、月間利用者数、広告求人のクリック数などが増加しました。

2024年12月度の月間利用者数（※2）は888万人となりました。

#### ④ インキュベーション事業

当第3四半期連結累計期間の売上収益は5,725百万円（前年同期比1.3%減）、セグメント利益は1,252百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

不動産及び旅行・移動の各領域における売上が増加した一方で、ライフスタイル・エンタメ領域の売上が減少しました。

- ※1 当社グループ4事業（価格.com 事業、食べログ事業、求人ボックス事業、インキュベーション事業）の提供価値を高め、事業成長を創り上げるべく2024年4月1日付で組織変更を実施しましたことに伴い、当連結会計年度よりセグメントを変更することとしました。変更の概要については、「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」をご参照ください。
- ※2 月間利用者数とは、サイトを訪れた人をブラウザベースで数えた利用者数です（特定のブラウザ、OS等によっては一定期間経過後に再訪した利用者を重複計測する場合があります）。モバイル端末のウェブページ高速表示に伴う利用者数の重複や、第三者による自動収集プログラムなどの機械的なアクセスについては可能な限り排除して計測しています。なお、食べログにおいては、2022年2月をもってAMP (Accelerated Mobile Pages) 対応を終了いたしました。
- ※3 従前、食べログ事業の内訳を「飲食店販促事業」「ユーザー会員事業」「広告事業」「その他」の4区分としていたところ、当連結会計年度より「飲食店広告事業」「飲食店予約事業」「ユーザー会員事業」「広告事業」及び「その他」の5区分に変更することとしました。なお、飲食店広告事業は従前の飲食店販促事業における「PRサービス」に、飲食店予約事業は従前の飲食店販促事業における「ネット予約サービス」に相当します。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

### ① 財政状態に関する分析

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は91,749百万円となり、前連結会計年度末と比較し8,441百万円増加いたしました。これは主に、現金及び現金同等物が5,267百万円、その他の流動資産が2,165百万円、営業債権及びその他の債権が1,403百万円それぞれ増加したことによるものであります。

#### (負債)

負債合計は34,596百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,979百万円増加いたしました。これは主に、その他の流動負債が3,395百万円、営業債務及びその他の債務が838百万円それぞれ増加した一方で、未払法人所得税が1,186百万円減少したことによるものであります。

#### (資本)

資本合計は57,152百万円となり、前連結会計年度末と比較し5,461百万円増加いたしました。これは主に、親会社の所有者に帰属する四半期利益15,098百万円を計上した一方で、剰余金の配当9,487百万円があったことによるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ5,267百万円増加し、42,969百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は18,595百万円（前年同期は10,289百万円の収入）となりました。

これは主に、税引前四半期利益22,181百万円、その他の流動負債の増加3,395百万円、減価償却費及び償却費2,867百万円があった一方、法人所得税の支払額8,264百万円、その他の流動資産の増加2,165百万円があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は2,400百万円（前年同期は1,742百万円の支出）となりました。

これは主に、無形資産の取得による支出1,621百万円があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は10,942百万円（前年同期は15,771百万円の支出）となりました。

これは主に、配当金の支払による支出9,483百万円、リース負債の返済による支出1,056百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在までの業績は、主要事業における売上及び利益が想定以上に堅調に推移しております。しかしながら、かかる主要事業へのさらなる投資の可能性を考慮し、2024年5月9日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を据え置いております。今後、当該事象が確定し、業績に重要な影響を及ぼすと判断される場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	37,702	42,969
営業債権及びその他の債権	11,808	13,211
その他の金融資産	442	426
その他の流動資産	10,435	12,600
小計	60,386	69,205
売却目的で保有する資産	305	—
流動資産合計	60,692	69,205
非流動資産		
有形固定資産	2,101	2,243
使用権資産	5,372	4,989
のれん及び無形資産	7,454	7,126
持分法で会計処理されている投資	33	18
その他の金融資産	6,220	6,745
繰延税金資産	1,342	1,359
その他の非流動資産	95	64
非流動資産合計	22,617	22,543
資産合計	83,308	91,749

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	4,189	5,027
社債及び借入金	121	34
その他の金融負債	628	1,218
未払法人所得税	4,273	3,088
リース負債	1,221	1,398
従業員給付に係る負債	2,235	2,054
その他の流動負債	14,104	17,499
流動負債合計	26,772	30,318
非流動負債		
社債及び借入金	134	118
リース負債	3,700	3,188
引当金	542	543
その他の非流動負債	469	430
非流動負債合計	4,845	4,279
負債合計	31,617	34,596
資本		
資本金	916	916
資本剰余金	78	—
利益剰余金	51,186	56,744
自己株式	△1,175	△877
その他の資本の構成要素	376	85
親会社の所有者に帰属する持分合計	51,380	56,868
非支配持分	311	284
資本合計	51,691	57,152
負債及び資本合計	83,308	91,749



## (2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上収益	48,679	56,687
営業費用	30,455	34,033
その他の収益	81	8
その他の費用	7	8
減損損失	—	588
営業利益	18,299	22,065
金融収益	189	169
金融費用	15	39
持分法による投資損益	31	△15
税引前四半期利益	18,505	22,181
法人所得税費用	5,806	7,118
四半期利益	12,699	15,062
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	12,677	15,098
非支配持分	22	△36
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	63.12	76.38
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	63.07	76.34

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期利益	12,699	15,062
その他の包括利益（税効果控除後）		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	23	8
純損益に振り替えられることのない項目合計	23	8
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2	2
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△0	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	2	2
その他の包括利益（税効果控除後）	24	10
四半期包括利益	12,723	15,072
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	12,701	15,109
非支配持分	22	△36

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
期首残高	916	64	48,136	△1,596
四半期利益	—	—	12,677	—
その他の 包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	12,677	—
剰余金の配当	—	—	△8,648	—
自己株式の 取得及び処分	—	—	3	△3,960
株式報酬取引	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	21	—	—
その他	—	△1	—	—
所有者との取引額合 計	—	19	△8,644	△3,960
期末残高	916	84	52,169	△5,556

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	その他の資本の構成要素							
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産の 公正価値の 純変動	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ 他の包括利 益に対する持 分	新株 予約権	その他の 資本の 構成要素 合計			
期首残高	△44	△13	△6	424	360	47,881	284	48,165
四半期利益	—	—	—	—	—	12,677	22	12,699
その他の 包括利益	23	2	△0	—	24	24	△0	24
四半期包括利益合計	23	2	△0	—	24	12,701	22	12,723
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△8,648	—	△8,648
自己株式の 取得及び処分	—	—	—	△10	△10	△3,967	—	△3,967
株式報酬取引	—	—	—	49	49	49	—	49
新株予約権の失効	—	—	—	△21	△21	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	△1	—	△1
所有者との取引額合 計	—	—	—	18	18	△12,567	—	△12,567
期末残高	△21	△11	△7	442	403	48,016	306	48,322

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
期首残高	916	78	51,186	△1,175
四半期利益	—	—	15,098	—
その他の 包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	15,098	—
剰余金の配当	—	—	△9,487	—
自己株式の 取得及び処分	—	△53	—	298
支配継続子会社 に対する持分変動	—	△338	—	—
株式報酬取引	—	52	—	—
新株予約権の行使	—	212	—	—
新株予約権の失効	—	3	—	—
その他	—	46	△52	—
所有者との取引額 合計	—	△78	△9,540	298
期末残高	916	—	56,744	△877

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素								
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	その他の資本の構成要素合計				
期首残高	△57	△8	△6	446	376	51,380	311	51,691	
四半期利益	—	—	—	—	—	15,098	△36	15,062	
その他の包括利益	8	2	—	—	10	10	0	10	
四半期包括利益合計	8	2	—	—	10	15,109	△36	15,072	
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△9,487	—	△9,487	
自己株式の取得及び処分	—	—	—	△245	△245	0	—	0	
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	△338	9	△329	
株式報酬取引	—	—	—	115	115	167	—	167	
新株予約権の行使	—	—	—	△174	△174	38	—	38	
新株予約権の失効	—	—	—	△3	△3	—	—	—	
その他	—	—	6	—	6	—	—	—	
所有者との取引額合計	—	—	6	△306	△301	△9,620	9	△9,611	
期末残高	△49	△5	—	140	85	56,868	284	57,152	

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	18,505	22,181
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び償却費	2,791	2,867
減損損失	—	588
受取利息及び受取配当金	△6	△5
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	△1,806	△1,403
営業債務及びその他の債務の増減 (△は減少)	281	935
その他の金融負債の増減 (△は減少)	△957	586
その他の流動資産の増減 (△は増加)	△1,607	△2,165
その他の流動負債の増減 (△は減少)	2,094	3,395
その他	△410	△111
小計	18,884	26,869
利息及び配当金の受取額	10	9
利息の支払額	△23	△19
法人所得税の支払額	△8,582	△8,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,289	18,595
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△278	△698
無形資産の取得による支出	△1,331	△1,621
投資有価証券の取得による支出	△147	△315
投資有価証券の売却による収入	—	312
投資事業組合等の分配収入	—	44
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△130	—
関連会社株式の売却による収入	194	—
敷金及び保証金の差入による支出	△11	△122
その他	△40	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,742	△2,400

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30	△87
長期借入金の返済による支出	△30	△16
リース負債の返済による支出	△1,069	△1,056
自己株式の取得による支出	△6,003	△0
配当金の支払による支出	△8,639	△9,483
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△329
ストック・オプションの行使による収入	3	38
その他	△4	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,771	△10,942
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	10	14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,215	5,267
現金及び現金同等物の期首残高	36,453	37,702
現金及び現金同等物の四半期期末残高	29,238	42,969



(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、サービス別に事業本部及び子会社を置き、各事業本部及び子会社は、取り扱うサービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社グループは、事業本部及び子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「価格.com事業」、「食べログ事業」、「求人ボックス事業」、「インキュベーション事業」の4つを報告セグメントとしております。

「価格.com事業」は、購買支援サイト『価格.com』、連結子会社㈱カカコム・インシュアランスによる保険代理店業務等、連結子会社㈱Patheeの小売店向けのデジタル販促ツール『STORECAST』を展開しております。「食べログ事業」は、レストラン検索・予約サイト『食べログ』を展開しております。「求人ボックス事業」は、求人情報の一括検索サイト『求人ボックス』、連結子会社JOBcube, INC. 運営の求人情報の一括検索サイト『Jobcube』を展開しております。「インキュベーション事業」は、不動産住宅情報サイト『スマイティ』、旅行のクチコミサイト『フォートラベル』、連結子会社㈱エイガ・ドット・コム運営の総合映画情報サイト『映画.com』、連結子会社㈱webCG運営の自動車専門サイト『webCG』、連結子会社㈱タイムデザインのダイナミックパッケージシステムの開発事業、連結子会社㈱LCL運営サイト『バス比較なび』を展開しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当第1四半期連結会計期間より組織変更を契機に、マネジメント・アプローチの観点から、現状の組織体制と情報を開示するセグメント区分を一致させるため、報告セグメントを従来の「インターネット・メディア事業」及び「ファイナンス事業」の2区分から、「価格.com事業」、「食べログ事業」、「求人ボックス事業」、「インキュベーション事業」の4区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

また、従来営業利益をセグメント利益としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更に合わせて業績をより適切に評価するため、セグメント利益の調整額に、各報告セグメントに帰属しない全社費用等を計上する方法に変更いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法により作成したものを記載しております。

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントごとの情報は以下のとおりであります。なお、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

(3) 報告セグメントごとの売上収益及び利益または損失の金額に関する情報  
前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	要約四半期 連結損益計 算書
	価格.com 事業	食ベログ 事業	求人ボックス 事業	インキュベー ション事業	計		
売上収益							
外部収益	15,795	20,451	6,631	5,801	48,679	—	48,679
セグメント間収益	—	—	—	32	32	△32	—
計	15,795	20,451	6,631	5,834	48,712	△32	48,679
セグメント利益 (注) 2	8,048	10,771	3,319	1,300	23,439	△5,140	18,299
金融収益							189
金融費用							15
持分法による投資損益							31
税引前四半期利益							18,505

(注) 1 セグメント利益の調整額△5,140百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,140百万円及びセグメント間取引の消去等△0百万円が含まれております。

(注) 2 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	要約四半期 連結損益計 算書
	価格.com 事業	食ベログ 事業	求人ボックス 事業	インキュベー ション事業	計		
売上収益							
外部収益	17,225	24,630	9,108	5,725	56,687	—	56,687
セグメント間収益	1	—	—	59	60	△60	—
計	17,226	24,630	9,108	5,783	56,747	△60	56,687
セグメント利益 (注) 2, 3	8,246	13,677	3,682	1,252	26,858	△4,792	22,065
金融収益							169
金融費用							39
持分法による投資損益							△15
税引前四半期利益							22,181

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,792百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,792百万円及びセグメント間取引の消去等△0百万円が含まれております。

(注) 2 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(注) 3 価格.com事業セグメントにて、減損損失588百万円を計上しておりますが、詳細は「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (減損損失)」に記載のとおりです。

(減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、買収時に想定をしていた連結子会社(株)Patheeの早期黒字化という当初の目的を達成することが困難であることが判明し、見直し後の事業計画に基づいて回収可能価額まで減損損失を認識した結果、価格.com事業セグメントにて、同社の事業に関連する主に無形資産及びのれんについて、減損損失588百万円（内、技術関連資産140百万円、のれん446百万円、その他2百万円）を計上いたしました。

なお、回収可能価額は使用価値に基づいており、その価値を零としております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の異動(株式譲渡))

当社は、2025年1月22日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社Patheeの当社保有株式の全てを、株式会社movに譲渡する事について決議し、同日株式譲渡契約を締結いたしました。

詳細につきましては、2025年1月22日公表の「連結子会社の異動(株式譲渡)に関するお知らせ」をご参照ください。